

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 亀の子

目	次	
1.	法人の目的	2
2.	亀の子の理念	2
3.	法人の基本方針	2
4.	各事業部門	3
	(1) 本部	
	I. 総務・労務	3
	II. 地域福祉との連携	3
	III. 非常災害対策	4
	IV. 職員(人材)の育成	5
	V. 法人運営会議	8
	VI. 情報公開	8
	VII. 緒会議	8
	(2) 障がい者支援部門	
	I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】	9
	II. 日常生活支援【のほほん】	13
	III. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】	15
	IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】	18
	V. 福祉的就労支援【遊亀館】	20
	VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】	22
	VII. 住まいの支援【タートルホーム】	25
	【コーポ亀の子Ⅱ】	26
	【コーポ亀の子Ⅲ】	27
	(3) 高齢者支援部門	
	高齢者支援【亀の子デイサービス】	28
	(4) 子ども支援部門	
	I. 保育支援【たから保育園】	29
	II. 障がい児通所支援	
	【かめっ子クラブ】	32
	【かめっ子クラブⅡ】	34
5.	メンバーの家族との連携	35
6.	苦情解決	36
7.	社会貢献活動	36

1. 法人の目的

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者・児が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

2. 亀の子の理念

- ① 一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場であること。
- ② 自己選択・自己決定・自己責任・自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場であること。
- ③ 「障がい者を世の光とする」メッセンジャーである。生きるメッセージを与えて行く場である。
- ④ 亀の子は、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場であること。
- ⑤ 子どもの人権を尊重しながら、働く父母や地域の多様化する要望に応え、愛される保育園を目指す。

3. 法人の基本方針

(1) 法人の基本方針

- ① 大田圏域の障がい者で、保健福祉の支援を必要としている人に対し、利用者の人間美をひきだし、信頼関係を深め、一人ひとりのライフステージに添った人生の物語が実現できるように支援体制を整えます。
- ② 障がい者福祉の総合的なコミュニティソーシャルワーク(CSW:地域福祉)の拠点となり、『さわやかに 明るく さりげなく 豊かな出会いの場』を目指します。
- ③ 障がい者福祉、高齢者福祉そして児童福祉が一体化することにより、先進的な多機能サービス(地域共生ケア)が提供でき、豊かな地域社会が形成されるよう貢献します。

(2) 利用者援助の基本方針

- ① 利用者一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場とします。
- ② 自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場とします。
- ③ 亀の子セルプは、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場とします。
- ④ 「障害者を世の光とする」メッセンジャーとなります。
- ⑤ 人として、生きるメッセージを与えていく場となります。
- ⑥ 苦情に対しては、誠心誠意を込めて対応を行います。
- ⑦ 個人情報、部外者に漏れないよう大切に扱います。

以上のことに努めました。

4. 各事業部門

(1) 本部

I. 総務・労務・教育

1) 職員の役割

施設の主体者はメンバーです。常にメンバーの人権を尊重し豊かな感性を持ち、相手の立場に立った、よき理解者として心がけました。組織の一員として、また専門職としての自覚の下に、信頼を得るよう努めました。かつ、職務分掌に基づき速やかに職務を遂行するよう務めました。

一方、施設の効率的運営に留意、協力すると共に常に問題意識をもち、研究心を忘れないようにしました。更に、地域社会にあつては、施設の役割を認識し積極的に交流しました。

2) 職員の役割

* 基本理念

- ① 基本的人権の尊重
- ② 職務及び利用者に関する守秘義務を果たす。

3) 保健衛生

職員は健康管理には十分留意した生活を行いました。

また年1回検診(下記(1)・(2))を行いました。

- (1) 内科検診・X線間接・体重・血圧測定・検尿・視力検査・聴力検査
- (2) 35歳以上の職員については、(1)の検査に加えて次の検査も行いました。

① 血液検査 ② 心電図 ③ 胃検査

- (3) 月1回検便(腸内細菌検査)を実施しました。

亀の子工房(豆腐工房・給食工房の利用者及び職員)

遊亀館(配食サービス・天然酵母 pole pole の従業員及び職員)

4) 勤務

全職員が「就業規則」及び「労働基準法」を遵守して勤務しました。

II. 地域福祉との連携

施設処遇の福祉ではなく、地域福祉を根ざした授産科目を目指し、当亀の子セルフは、地場産業とも連携をとり、地域住民も参画し(ボランティアの協力)、共に共有、共存できる施設を目指しました。

具体的に次の事項を実践しました。

- ① 社会福祉協議会と提携し諸施策の実行をおこないました。
- ② 施設の開放
- ③ ボランティアの受け入れと交流(うさぎの会等)
- ④ 機関紙「亀の子セルフ」の発行(4半期毎)
- ⑤ 精神保健福祉の体験学習の場の提供

1) 施設見学者・視察研修者

日付	来 所 者	人数
6.16	島根大学看護学科 学生	2
6.23	石見養護学校 生徒	10
7.7	出雲養護学校 瀬摩分教室2年生	6

日付	来 所 者	人数
7.8	島根大学看護学科 学生	2
8.5	江津清和養護学校 生徒・教諭	19
9.14	出雲養護学校 生徒・教諭	4
10.21	島根県立大学 学生	3
12.2	出雲養護学校邇摩分教室1年生 生徒・教諭	6
12.2	出雲養護学校邇摩分教室2年生 生徒・教諭	6
12.11	出雲養護学校大田分教室中学部 生徒・教諭	14
合 計		72

2) 体験等実習

日付	実 習 者	人数
6.8～12	浜田養護学校 生徒	1
6.18	島根県立大学 学生	3
7.9	島根県立大学 学生	3
7.21～8.4	出雲養護学校邇摩分教室3年 生徒	1
8.10～9.4	福山平成大学保育科 学生	1
8.17	精神保健福祉ボランティア養成講座	5
9.28～10.10	広島医療保健専門学校 学生	1
10.19～30	出雲養護学校邇摩分教室 生徒	3
11.18～19	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 学生	2
1.4～13	出雲養護学校邇摩分教室3年 生徒	1
1.18～26	出雲養護学校邇摩分教室1年 生徒	1
1.18～29	出雲養護学校邇摩分教室2年 生徒	2
合 計		24

Ⅲ. 非常災害対策

「亀の子消防計画」、「自衛消防組織」及び「緊急連絡網」の周知、徹底を全職員に図ります。また、災害の防止及び備えについて知識の普及と平常の訓練の充実を図りました。

1) 予防と知識の普及

各室に火気取り締まり責任者をおき、点検を行うとともに、年1回の自主点検及び職員と利用者に消火器取り扱い訓練を行いました。
利用者及び職員の喫煙については、場所を指定(タートルホーム玄関横)しました。

2) 避難訓練

- ①内 容 : 総合訓練や避難訓練を行い、迅速な避難誘導の習慣化を図りました。
- ②開催日 : (総合訓練) 9月7日(大田市消防本部職員立会)

(避難訓練) 3月29日
 (夜間避難訓練) 3月29日(タートルホーム・コーポ亀の子Ⅲ)

3) 事故防止

メンバーの安全を第一に考え、施設内において事故が起きそうな場所は、速やかに改善を行いました。

IV. 職員(人材)の育成

1) 施設内研修

- ①メンバーの処遇について・専門的関わりについての学習会を行いました。
- ②法人職員としての接遇についての学習会を行いました。

研修名	実施月日	対象	参加人数
あいサポート研修	4.22	新人職員 他	12
座薬勉強会	7.7	かめっ子クラブ・かめっ子クラブⅡ職員	6
精神保健福祉に携わる職員としての援助技術を高めるためのSST	9.28	全職員	32

2) 施設外研修

①亀の子サポートセンター

11講座に 延べ13名の職員が受講しました。
 主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
島根県相談支援専門員協会総会・相談スキルアップ研修会	4.29
平成 27 年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	6.25～26
発達障がいを理解するための基礎講座	8.29

②のほほん

2講座に 延べ2名の職員が受講しました。
 研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
障害支援区分認定調査員研修	5.11
発達障がいを理解するための基礎講座	8.29

③ふぁみりーわーく

5講座に 延べ5名の職員が受講しました。
 主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
精神障がい者支援事業所連絡協議会、総会と管理者研修会	6.13
平成 27 年度福祉サービス苦情解決研修会	10.19

研 修 名	実施月日
平成27年度 障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.9～10

④亀の子工房

16講座に 延べ18名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者)	6.10・11
平成27年度福祉サービス苦情解決研修会	10.19
平成27年度 社会福祉法人会計実務研修(決算コース)	12.14

⑤遊亀館

13講座に 延べ13名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成27年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修【中堅職員】	7.29～30
社会福祉法人経営セミナー	10.28～29
平成27年度 社会福祉法人会計実務研修(決算コース)	12.14

⑥ジョブ亀の子

5講座に 延べ8名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
第17回全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会	6/13～14
福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者研修)	6/17～18
平成27年度島根県ジョブコーチフォローアップ研修会	12/10

⑦タートルホーム

1講座に 延べ1名の職員が受講しました。
研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成27年度 第1回「個別支援計画」作成及び運用に関する研修会	9.26～27

⑧コーポ亀の子Ⅱ

1講座に 延べ1名の職員が受講しました。
研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
サービス管理責任者研修(児童)	1.14～15

⑨亀の子デイサービス

1講座に 1名の職員が受講しました。
研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成27年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修【中堅職員】	7.15～16

⑩たから保育園

16講座に 延べ23名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者研修)	6.10～11
平成27年度 食物アレルギー研修会	8.5
第59回 島根県保育研究大会	10.24

⑪かめっ子クラブ

8講座に 延べ10名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成27年度 自閉症支援入門研修会	6.15～17
障害福祉青年フォーラム in 島根	8.29～30
平成27年度 社会福祉施設長資格認定講習課程 面接授業	10.15～19

⑫かめっ子クラブ II

5講座に 延べ7名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成27年度高次脳機能障がい者支援研修会「子どもの高次脳機能障がいと発達障がい」	8.8
平成27年度島根県相談支援従事者スキルアップ研修「サービス管理責任者と相談支援専門員の協働研修」	10.6～7
平成27年度福祉サービス苦情解決研修会	10.19

3) 主催研修

①障がい児支援研修会

放課後等デイサービスの職員及び地域の支援者のスキルアップのために北原侑先生(鳥取県立総合療育センター シニアディレクター)を講師に迎え、下記研修を開催いたしました。

研修名	対象者	実施日	参加人数
実践指導「事例を通して支援者の支援の在り方について」	児童の関係者のみ	6.8	11
	学校・保育・福祉・医療・行政関係者	10.24	18
	児童の関係者のみ	2.24	10

②高次脳機能障がい支援圏域研修会

島根県立心と体の相談センターより委託をうけ、下記研修会を開催いたしました。

研修内容	対象者	実施日	参加人数
高次脳機能障がいと認知症 講師:妹尾晴夫 氏 (松江青葉病院 院長)	福祉・医療・教育・行政関係者	1.15	61

V. 法人運営会議

法人の円滑な運営を図るために、下記の日程で会議を開催しました。

	開催日		
理事会	5/27	12/25	3/23
評議員会	5/27	12/25	3/23
監査会	5/25 (内部)	5/26	—

VI. 情報公開

ホームページにて、事業計画・報告、収支報告、苦情解決報告を掲載しております。

URL <http://www.kamenoko.jp>

VII. 諸会議

施設の円滑な運営を図り支援の向上と職員の士気高揚を図るために、次の会議を開催しました。

1)職員会議

構成	各部門の職員						
目的	施設内の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。						
開催	亀の子工房 ふぁみりーわーく センター	4.10	5.8	6.5	7.5	8.10	9.11
		10.15	11.10	12.11	1.13	2.5	3.10
	遊亀館	4.21	5.19	6.16	7.21	8.18	9.15
		10.20	11.17	12.15	1.19	2.16	3.15
	保育園	4.4	5.23	6.22	7.25	—	9.8
		10.19	11.19	12.29	1.15	2.10	3.15

2) 全体職員会議

構 成	全職員					
目 的	施設間の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。					
開 催	4.24	5.28	6.26	7.29	8.25	9.8
	10.26	11.26	12.25	1.18	2.25	3.25

3) 役職会議

構 成	役職員(理事長・施設長・館長・事務長)					
目 的	施設間の連絡、調整及び法人・施設業務が円滑に推進できるように調整を図る。					
開 催	4.20	5.18	6.15	7.13	8.17	9.18
	10.20	11.16	12.21	1.26	2.16	3.7

(2) 障がい者支援部門

I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】(相談支援事業所)

1) 目的

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与、又は権利の擁護のために必要な支援を行うことにより、障がい者等やその家族における生活を支援し、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る事を目的としています。

2) 方針

大田地域で生活する、全ての障がい者を対象とし、この大田地域の中でごく当たり前に生きていける自信に、さらに繋がるように支援をおこないました。

3) 開所時間

9:00 ～17:00 (土・日曜日・祝日は、電話を携帯電話に転送して対応)

17:00 ～ 9:00 (電話を携帯電話に転送して対応)

4) 生活相談事業

(単位:件)(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
訪問	84	91	85	87	51	69	52	47	50	50	53	60	779	64.9
来所相談	35	34	41	35	23	27	30	24	37	25	23	15	349	29.1
同行	14	6	3	15	8	6	8	13	6	5	11	6	101	8.4
電話相談	15	22	32	37	29	14	19	24	19	30	30	24	295	24.6
電子メール	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	6	0.5
個別支援会議	22	15	24	21	19	13	26	28	22	20	16	33	259	21.6
関係機関	14	23	19	36	24	15	19	32	22	19	30	20	273	22.8
その他	3	2	10	5	5	7	5	9	6	6	4	14	76	6.3
計	188	194	214	236	159	152	160	178	162	155	167	173	2,138	201
実人数	98	100	102	94	87	90	81	80	87	81	82	89	184	89.3

5) 認定調査

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
件数	4	7	2	19	8	10	4	5	4	3	3	7	76	6.3

6) 相談実績

①実績内訳

(単位:延べ件数)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福祉サービスの利用等に関する支援	112	111	125	106	79	83	82	77	70	80	78	99	1,102
障がいや病状の理解に関する支援	17	28	20	31	7	18	9	20	18	10	10	9	197
健康・医療に関する支援	17	34	19	43	26	27	28	33	25	22	24	21	319
不安の解消・情緒安定に関する支援	27	44	40	51	22	20	28	17	23	27	18	15	332
保育・教育に関する支援	1	4	5	3	0	0	1	0	4	1	2	0	21
家族関係・人間関係に関する支援	16	19	14	34	17	12	10	22	19	8	13	17	201
家計・経済に関する支援	11	4	7	5	5	6	3	5	9	4	12	12	83
生活技術に関する支援	6	7	17	18	9	6	6	7	6	9	5	6	102
就労に関する支援	7	3	14	8	6	11	8	15	13	15	10	12	122
社会参加・余暇活動に関する支援	0	2	4	0	2	3	0	1	2	0	0	5	19
権利擁護に関する支援	1	2	2	1	0	1	2	1	1	1	0	1	13
住居に関する支援	1	4	3	14	10	4	2	5	4	2	5	2	56
地域生活移行・自立生活に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
障害程度区分認定に関する支援	3	6	1	9	2	5	3	2	4	1	0	2	38
その他	8	6	10	16	7	11	19	19	15	15	23	16	165
合計	227	274	281	339	192	207	201	224	213	195	200	218	2,771

②計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	20	11	9	9	12	6	17	14	15	8	13	8	141
継続利用支援	41	39	44	43	26	43	29	32	31	32	25	43	484

③障がい児計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	9	3	2	2	1	2	2	4	2	3	3	0	33
継続利用支援	10	9	10	7	6	9	5	4	12	4	5	6	87

④支援対象契約者数

	年度初め	新規利用者	利用終了者	年度末
障がい者	110	15	14	111
障がい児	21	5	1	25
合計	131	18	15	134

7) 一般相談支援事業

①地域移行利用状況

	退院者数	入院中	中断者	利用者数
石東病院	0	1	0	1
合計	0	1	0	1

②地域定着利用状況

年度初め	新規利用者	利用終了者	年度末
5	5	5	5

8) 高次脳機能障害者支援拠点事業

①支援対象者

(平成28年3月31日現在)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男	0	0	2	2	5	6	15
女	0	0	1	3	2	2	8
計	0	0	3	5	7	8	23

②新規相談者数

実人員	医療機関	障がい者支援事業所	介護保険事業所	保健所	市町村	その他	なし
2	1	0	0	0	0	1	0

③相談延べ件数

	電話	来所	訪問	メール・書簡	その他	計
本人	30	31	23	0	14	98
家族	12	2	4	0	0	18
関係機関	44	4	4	0	0	52
計	86	37	31	0	14	168

④大田圏域支援ネットワーク会議

	開催日	会場	参加者数
第1回	H27.5.15	県央保健所 集団指導室	24名
第2回	H27.8.25	県央保健所 集団指導室	19名
第3回	H27.11.13	県央保健所 集団指導室	26名
第4回	H28.2.12	県央保健所 集団指導室	27名

⑤研修会開催

開催日	演題・講師	対象者	参加者数
1.15	高次脳機能障がいと認知症 講師:妹尾晴夫 氏 (松江青葉病院 院長)	福祉・医療・教育・ 行政関係者	61名

⑥高次脳家族の集い実績

開催日	内容	参加者				
		当事者	家族	ボラン ティア	関係 者等	計
6.24	①27年度の計画作成 ②ボランティアによるレクリエーション	6	2	1	2	11
9.24	①出雲大社参拝	4	1	0	2	7
12.1 8	①らとちゃんソングの替え歌披露 ②高次脳機能障がいについての勉強 会 講師:土江啓悦様(県支援CD)	5	1	1	3	10
3.2	①そば打ち体験	5	2	5	2	11

⑦その他活動

「脳外傷友の会らぶ」会員の協力により、家族相談を実施しました。

(相談開催日) 計6回

⑧高次脳機能障害者支援コーディネーター

小倉 和之

9) 会議等参加状況

①大田市・相談支援事業所連絡会(9月より実施)

(単位:人)

月	9月	10月		12月	1月	2月	3月	合計
出席者数	3	3	1	開催なし	2	開催なし	3	12

②その他

連絡会名 等	参加 回数	延べ 参加者数
大田市自立支援協議会各部会	6	6
大田圏域相談支援事業所会議	2	7
病院・市町等保健所連絡会	2	2
障害者就業・生活支援センター連絡会議	2	2
高次脳機能障害者支援ネットワーク会議(主催含む)	12	25
ゆきみーる運営等検討会議	3	3
地活センター連絡会	2	2

連絡会名 等	参加回数	延べ参加者数
大田圏域精神障がい者地域生活移行支援圏域会議	1	1
ウインドブロック連絡会	1	1

Ⅱ. 日常生活支援【のほほん】(地域活動支援センター)

1) 目的

障がい者に創作活動又は生産活動の機会を提供し、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の自立及び社会参加の促進を図ることを目的としています。

2) 方針

大田市で生活する全ての障がい者を対象として、障がい者がごく当たり前生きていける自信に繋がるように支援をおこないました。

3) 開所時間

9:00 ～17:00 (土曜日・日曜日は9:00～16:00)

4) 地域交流活動推進事業

①開館日数及び利用者数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	26	25	28	28	26	25	26	27	26	24	26	29	316
利用者数	71	67	69	58	71	51	69	70	65	64	60	67	108
1日平均	16.6	16.5	18.8	16.9	17.0	16.2	17.1	15.7	17.1	17.7	16.1	16.3	16.8

②月例行事

今年度は、ミュージックケアを新規行事として行ったところ、非常に好評で多くの方の参加がありました。

また、料理教室には精神保健福祉ボランティア「うさぎの会」の皆様にも協力してもらい、メンバーさんも楽しく参加することができました。

(単位:人)

月例行事	開催数	延べ	月例行事
カラオケ	50	340	6.8
お茶会	48	618	12.8
スポレク	28	157	5.6
のほほんシアター	18	118	6.5
料理教室	15	163	10.8
絵画同好会	12	9	0.7
音楽を楽しむ集い	3	59	19.6
ミュージック・ケア	4	78	19.5
創作活動	20	85	4.2
家族相談支援事業	24	120	5.0

月例行事	開催数	延べ	月例行事
ショッピング	10	48	4.8
脳トレ	15	78	5.2
エアロビクス教室	6	87	14.5
ゲーム	12	64	5.3
Myカレンダー作り	12	54	4.5
合 計	277	2,078	7.5

③各月行事

月	内容	参加人数
4月	お花見&グランドゴルフ	1
	マジックショー	2
6月	実習生との交流会	9
8月	焼肉・花火大会	7
	マジックショー	5
	野球観戦	8
9月	消防訓練	0
10月	センター当番ミーティング	6
	亀の子祭準備	1
11月	島根県障害者スポーツ大会(グラウンドゴルフ)	1
	一泊研修旅行	2
	マジックショー	5
	あすなる&つぼみクラブ交流会	3
12月	忘年会	3
1月	餅つき大会	11
	初釜	33
	五十猛グロ	5
2月	センター当番ミーティング	7
3月	消防訓練	3
合 計	19件	112

Ⅲ. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】

(自立訓練(生活訓練)事業・生活介護事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、SST 等を活用して個々の生活能力の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がいの重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援しました。
- ③作業を通じて達成感を持ち、社会の一員としての役割が持てるように支援をしました。
- ④レクリエーション活動を通じて、楽しみや充実感を持てるように支援をしました。
- ⑤たから保育園の園児と農作業を通して、世代間交流をしながら、体力作りと自然にいそしみ野菜が実る楽しみを支援しました。
- ⑥一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を立案し支援しました。

2) 作業時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に11:45～13:00を昼食時間とする。)

3) 各事業部門事業内容及び成果

①自立訓練(生活訓練)事業

- SST教室
- レク活動(ウォーキング、うさぎの会との交流、地域交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- 料理教室・買い物訓練を実施
- 大田市より委託を受け長久児童公園の管理業務に参加
- 箱折り、袋詰め、シール貼り、リサイクル分別の作業訓練を実施
- 身体機能の低下を予防する為の健康体操を実施
- 一泊研修旅行(大阪 USJ)を実施
- 入浴支援を実施
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

②生活介護事業

- 身体機能の低下を予防するための健康体操を実施
- 大田市の委託により長久児童公園の管理業務を実施
- ぬり絵・手芸の実施
- 農作業・袋詰め・シール貼り等の生産的活動を実施
- 医師・看護師等による健康管理を実施
- 入浴支援を実施
- 料理教室・買い物の訓練を実施
- 一泊研修旅行(大阪 USJ)を実施
- レクリエーション(ウォーキング、うさぎの会との交流、地域交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- SST 教室
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

③成果

- 軽作業やレクリエーションを通じて、利用者が主体的に活動でき、楽しみや生きがいにつながりました。
- 外出支援で、選挙の期日前投票に出かけ、社会に参加することができました。

- 嘱託医の健康相談や看護師の健康管理により、健康面での意識の向上が図られ、必要な方に専門医の受診が速やかにおこなうことができました。
- コミュニケーションの振り返りや SST 教室でのロールプレイを通して、日常生活の技能の向上が見られました。
- 昼食の提供により、バランスの良い食事摂取ができ、体調を整えることができました。
- 送迎支援により、体の不自由な方や遠方の方の利用が可能となり、生活リズムを整えることができました。

④利用者の主な障がい種別

	精神障がい	知的障がい	身体障がい	その他
自立訓練 (生活訓練)	4名	2名	0名	0名
	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
生活介護	15名	3名	1名	0名
	78.9%	15.8%	5.3%	0.0%

⑤利用者年齢別構成表(平成28年3月31日現在)

(単位:人)

		～29	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
自立訓練 (生活訓練)	男性	1	0	0	1	0	2	38歳2ヶ月
	女性	0	1	1	0	2	4	48歳8か月
	計	1	1	1	1	2	6	45歳2か月
生活介護	男性	0	0	1	4	5	10	59歳0か月
	女性	0	1	2	3	3	9	53歳0か月
	計	0	1	3	7	8	19	56歳2か月
合計	男性	1	0	1	5	5	12	55歳6か月
	女性	0	2	3	3	5	13	51歳8か月
	計	1	2	4	8	10	25	53歳6か月

⑥利用年数(平成28年3月31日現在)

(単位:人)

		1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
自立訓練 (生活訓練)	男性	1	1	—	—	2	1年2か月
	女性	2	2	—	—	4	1年1か月
	合計	3	3	—	—	6	1年1か月
生活介護	男性	2	0	4	4	10	4年0か月
	女性	1	3	3	2	9	3年4か月
	合計	3	3	7	6	19	3年8か月
合計		6	6	7	6	25	3年1か月

⑦利用者手帳所持者数(平成28年3月31日現在)

(単位:人)

		精神 1級	精神 2級	精神 3級	療育 A	療育 B	身体	不明	合計
自立 訓練 (生活 訓練)	男性	0	2	0	0	0	0	0	2
	女性	1	1	0	0	2	0	0	4
	計	1	3	0	0	2	0	0	6
生活 介護	男性	1	6	1	0	1	1	0	10
	女性	4	3	0	0	2	0	0	9
	計	5	9	1	0	3	1	0	19
合計		6	12	1	0	5	1	0	25

⑧平均利用日数

○自立訓練(生活訓練)事業【定員 6名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	19	22	23	20	20	23	21	22	20	21	23	21.3
登録者数	8	9	10	10	9	8	8	9	8	6	6	6	8.0
延べ利用者数	116	118	138	138	113	95	113	126	95	52	58	98	105
1日当り利用者数	5.3	6.2	6.3	6.0	5.7	4.8	4.9	6.0	4.3	2.6	2.8	4.3	4.9

○生活介護事業【定員 14名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	19	22	23	20	20	23	21	22	20	21	23	21.3
登録者数	19	19	19	18	20	20	20	19	20	19	19	19	19.3
延べ利用者数	326	256	316	342	303	324	359	311	346	282	315	333	317.8
1日当り利用者数	14.8	13.5	14.4	14.9	15.2	16.2	15.6	14.8	15.7	14.1	15.0	14.5	14.9

⑨利用者推移

○利用者推移表

(単位:人)

	年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
自立訓練 (生活訓練)	7	6	7	6
生活介護	19	2	2	19
合計	26	8	9	25

○退所者の行先

	退所後の様子
自立訓練(生活訓練)事業	自宅(1名)、生活介護(1名)、就労継続B型(3名) 就職(1名)、入院(1名)
生活介護事業	介護保険(1名)、入所施設(1名)

IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】(就労継続支援 B 型事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、個々の能力に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、能力の開発並びに意識の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がい重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援しました。
- ③障がい者(精神・知的・身体等)を、障がいの程度に沿った支援を行いました。

2) 作業時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に12:00～13:00を昼食時間とする。)

3) 事業実施内容及び成果

①給食工房

- ・学校給食センター・地元農家と連携して地産地消に取り組んだ結果、カット野菜の種類も増えて、売り上げ増につながりました。
- ・レクリエーションを取り入れ、外出することでリフレッシュやメンバー同士の親睦を深めることができ、作業を協力してすることができました。

②豆腐工房

- ・製品の廃棄やロスを見直したことで、収益アップにつながりました。
- ・製造について、工程や効率を上げるための方法をメンバーと一緒に考えることで、一人ひとりの作業に対する気持ちと責任感が向上しました。

③印刷工房

- ・新しくデザインに挑戦し、オリジナルポストカードを作成して販売しました。創る意欲・仕事の幅が広がりました。
- ・外出レクリエーションを取り入れ、市場調査やメンバー同士のコミュニケーションの場となり、横の連携がスムーズになり、仕事のしやすい環境作りができました。

4) 研修

①「ふぁみりーわーく」との合同研修会を下記のとおり実施しました。

日付	内容	亀の子工房	ふぁみりーわーく
4.4	今年度の勉強会について話し合い	16	7
7.25	人権研修	13	12
10.17	大阪一泊研修旅行についての話し合い	15	14
3.19	虐待について	16	17

②研修旅行

実施日	場所	内 容
11/20-21	大阪府	大阪一泊研修旅行

5) 利用者年齢別構成表(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	～29	30代	40代	50代	60～	計	平均年齢
男性	6	3	2	4	1	16	37歳10か月
女性	0	1	5	3	0	9	45歳11か月
計	6	4	7	7	1	25	40歳9か月

6) 利用者の主な障がい種別(平成28年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい	発達障がい
12名	6名	1名	3名	3名
48%	24%	4%	12%	12%

7) 利用年数(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	3	5	3	5	16	3年6か月
女性	2	3	2	2	9	3年1か月
計	5	8	5	7	25	3年4か月

8) 利用者手帳所持者数(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	精神1級	精神2級	精神3級	療育A	療育B	身体	手帳なし	合計
男性	0	6	2	0	6	1	1	16
女性	0	5	1	0	1	1	1	9
計	0	11	3	0	7	2	2	25

9) 平均利用日数【定員20名】 (単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	19	22	23	20	20	23	21	22	20	21	23	21.3
登録者数	24	23	23	23	23	25	24	24	25	26	25	25	24.0
延べ利用者数	397	342	397	375	312	363	425	388	440	395	379	442	387.9
1日当り利用者数	18.0	18.0	18.0	16.3	15.6	18.2	18.5	18.5	20.0	19.8	18.0	19.2	18.2

10) 利用者推移 (単位:人)

年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
24	5	4	25

退所者の行先は、就労(2名)・入院(1名)・訓練校(1名)・

11) 利用者の平均工賃

時給 233.6円(前年度226.5円)

12)行事

月日	実施内容
4.3	花見
5.16	消防署見学
6.4	ボウリング大会
8.22	亀の子祭施設紹介作成
9.7	消防訓練
9.11	大田市障がい者スポーツ大会
9.18	焼き肉大会
9.19	亀の子祭準備
10.3	亀の子祭
11.14	啓発出し物練習・川柳
12.6	ふれあいフェスティバルおおだ
12.19	忘年会
1.6	餅つき大会
2.3	歩くスキー
2.20	健康体操・はねっこゲーム
3.29	消防訓練

V. 福祉的就労支援【遊亀館】(就労継続支援 A 型事業)

1) 支援方針

- ①障がい者が雇用の機会を通じ、就労することの喜びや厳しさを得るように支援を行い、社会人としての必要な知識及び能力の向上のための訓練その他の便宜を適切かつ効果的に支援します。
- ②利用者(顧客)へは、常に質の高いサービスを提供するとともに顧客満足の追及を怠らずサービスの向上に努めます。

2) 利用者の就労時間

8:50 ～ 17:00

3) 利用者人数と賃金

- ①20名(H28年3月現在)
- ②時給696円(H28年3月現在) 従業員月額平均賃金 56,426円

4) 活動の報告

- ①A 型からの一般就職者2名、新規 A 型利用者2名を雇用。退所者は2名。
- ②個別支援計画に基づいた就労の提供・支援を行いました。
- ③従業員の生活支援・健康管理・就労支援を行いました

- ④就労能力向上の研修会に参加いたしました。
- ⑤年間売上目標達成に向けて、企画・営業・広報活動を行いました。
- ⑥職場実習の受け入れ・従業員の研修会を行いました。
- ⑦地域行事への参加、及び法人内の行事・研修に参加いたしました。
- ⑧第3土曜日の午前中に研修会を実施しました。

部門別

部門名	内容
配食サービス	介護保険認定者等及びデイサービス利用者への普通食や治療食の配食サービスを実施しました。また、出雲養護学校仁摩分教室への給食を提供しました。また、家族への安否確認のメールサービスを実施いたしました。
天然酵母 pole pole	パン・焼き菓子の製造販売を行ないました。また、新商品の開発、新規販売先を開拓しました。
介護予防サロン	利用者への介護予防プログラム・生きがいをづくり支援を中心に行いました。また利用者ごとの個別ケアに取り組みました。
施設外就労	法人の児童及び障がい児施設内において就労支援を行いました。

5) 部門別利用者表 (H28年3月31日現在) (単位:人)

部門	男性	女性	計
給食・配食サービス	4	2	6
天然酵母 pole pole	0	5	5
介護予防サロン	3	3	6
施設外就労	3	0	3
計	10	10	20

6) 部門別加入保険状況表 (H28年3月31日現在) (単位:人)

	加入保険		計
	雇用保険	社会保険	
配食サービス	4	0	4
天然酵母 pole pole	0	0	0
介護予防サロン	6	0	6
施設外就労	3	0	3
合計	13	0	13

7) 利用者の主な障がい種別 (平成28年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
14名	5名	0名	1名
70%	25%	0%	5%

8)利用者年齢別構成表(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代～	計
男性	1	1	3	3	2	10
女性	0	4	3	1	2	10
合計	1	5	6	4	6	20

9)利用者手帳所持者数(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	1級	2級	3級	療育	なし	合計
男性	0	5	4	1	0	10
女性	1	5	0	3	1	10
合計	1	10	4	4	1	20

10)職場実習件数 9件

11)職場実習受け入れ件数 5件

出雲養護学校 2人、福祉施設 2人、その他 1人

12)従業員支援

個別支援計画に基づき、自己決定を尊重しながら働くことの厳しさや意識をもってもらえるよう就労支援を致しました。生活支援については、家族や相談支援事業所等との連携を行いました。また就労に際し医療が必要な場合等は同行受診や家庭訪問も行いました。一般就労支援においては、就業・生活支援センター等との連携も実施いたしました。

13)従業員の健康管理

体調の自己管理等ができるように、看護師・栄養士による健康講座を実施いたしました。

VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】(障がい者就業・生活支援センター)

1)目的

就職や職場適応などの就業面の支援及び生活習慣の形成や日常生活の管理などの就業の継続に伴う生活支援が必要な障がい者に対して、雇用、福祉、保健、教育等の関係機関と連携を図りながら、身近な地域において必要な指導、助言その他支援を行うことにより、職業生活における自立を図ることを目的とします。

2)事業の内容

- ①障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行いました。
- ②事業主に対して障がい者の就職後の雇用管理に係る助言等を行いました。
- ③障がい者に対して障害者職業センター、事業主により行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについて斡旋を行いました。
- ④障がい者の雇用の場、職場実習の場を広げる活動を行いました。

- ⑤障がい者の就職後の職場定着支援を実施しました。
- ⑥県、市町村、公共職業安定所、障害者職業センター等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの関係機関との連携を図りました。
- ⑦在職者のための交流会「パキラ」を年4回(5月、6月、10月、11月)開催しました。
- ⑧大田市自立支援連絡会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑨邑南町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑩島根県障がい者就労支援ネットワーク構築事業を受託し実施しました。
- ⑪島根県より障がい者チャレンジ事業を受託し、職場実習の拡大を行いました。
- ⑫島根県より障がい者雇用促進支援員配置業務を受託し、事業所開拓を行いました。

3) 支援対象障がい者の状況

①登録状況

(単位:人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
在職者	8	64	41	10	123
求職者	3	27	23	3	56
その他	0	1	1	0	2
合計	11	92	65	13	181

4) 障がい者に対する支援の実施状況

①支援対象障がい者に対する相談・支援件数(手段別)

(単位:件)

ジョブ亀の子への来所	709
電話・メール	1,447
職場訪問	761
家庭・施設への訪問	325
その他	438
合計	3,680

②支援対象障がい者に対する相談・支援件数(内容別)

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
就職に向けた相談や支援	23	421	509	33	986
職場定着に向けた相談・支援	47	619	474	94	1,234
日常生活・社会生活に関する相談・支援	6	338	315	15	674
就業と生活の両方にわたる相談・支援	11	446	290	39	786
合計	87	1,824	1,588	181	3,680

③支援対象障がい者の就職件数 (単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般 (30時間以上)	0	6	8	0	14
短時間(20時間以上 30時間未満)	0	5	6	1	12
短時間 (20時間未満)	1	2	1	0	4
合計	1	13	15	1	30

④支援対象障がい者の実習件数 (単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
3日以上の実習	1	29	29	1	60

5) 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

①相談・支援を行った事業所数・・・99事業所

②相談・支援件数(手段別) (単位:件)

ジョブ亀の子への来所	2
電話・メール	103
企業訪問	821
その他	1
合計	927

6) 障がい者就業・生活支援センター事業連絡会議

①第1回連絡会議開催・・・平成27年6月26日(金) 於:あすてらす
参加:34機関 43名

②第2回連絡会議開催・・・平成28年2月26日(金) 於:あすてらす
参加:34機関 46名

7) 職場定着促進のための在職者の交流会「パキラ」

①第1回開催・・・平成27年5月16日(土)
浜田障害者就業・生活支援センターと合同開催
「携帯電話の正しい使い方について」 参加:17名

②第2回開催・・・平成27年6月6日(土)
出雲障害者就業・生活支援センターと合同開催
「フライングディスク」 参加:10名

③第3回開催・・・平成27年10月3日(土)
亀の子祭に参加、交流 参加:15名

④第4回開催・・・平成26年11月28日(土)
雲南障害者就業・生活支援センターと合同開催
「石見銀山散策」 参加:12名

8) ネットワーク構築事業

①「障がい者雇用企業見学会」

日 時：平成27年10月9日(金)

参加者：9事業所 計9名

②「障がい者一般就労体験発表」

日 時：平成28年1月27日(水)

会 場：大田市民センター

内 容：事業主、在職障がい者による体験発表

参加者：62名

③「先進地視察」

日 時：平成27年8月27日(木)～28日(金)

場 所：岡山県

参加者：3機関 計8名

Ⅶ. 住まいの支援

【タートルホーム】(共同生活援助事業)

1) 基本方針

①サービス利用計画書に従い、利用者の自己自立の促進を促します。

②将来は一般アパートに入居できるよう、生活支援をしていきます。

2) 入居状況推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
10名	7名	3名	0名	10名

3) 入居者構成表(平成28年3月31日現在)

(単位:人)

	～29	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢
男性	0	1	0	2	1	4	49歳7か月
女性	0	0	0	3	3	6	59歳11か月
合計	0	1	0	5	4	10	55歳9か月

4) 入居年数(平成28年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	2	0	0	2	4	3年11か月
女性	1	3	1	1	6	3年3か月
合計	3	3	1	3	10	3年6か月

5) 利用者の主な障がい種別 (平成28年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
8名	1名	0名	1名
80%	10%	0%	10%

6) 福祉サービス利用先等 (単位:人)

一般就労	亀の子工房	ふぁみりーわーく		合 計
		自立訓練	生活介護	
0	3	1	6	10

7) その他

- 服薬確認や家族・病院との連携に務めました。
- 毎月全員でミーティングを実施しました。

【コーポ亀の子Ⅱ】(共同生活援助事業)

1) 基本方針

住まいの場の提供を図り、それぞれが快適に、自分らしく生活できるように、自己自立を図るように、住まいの提供とともに、必要な生活支援をしています。

2) 入居状況推移表 (単位:人)

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
5	5	0	0	5

3) 入居者構成表(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢
男性	1	0	1	1	0	3	44歳5か月
女性	0	1	1	0	0	2	39歳7か月
合計	1	1	2	1	0	5	42歳5か月

4) 入居年数(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	0	1	1	1	3	5年2月
女性	0	1	0	1	2	5年6月
合計	0	2	1	2	5	5年3月

5) 利用者の主な障がい種別 (平成28年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
4名	0名	0名	1名
80%	0%	0%	20%

6) 福祉サービス利用先等 (単位:人)

一般就労	遊亀館	ふぁみりーわーく	合計
2	2	1	5

7) その他

○毎月1回、全体ミーティング(生活状況等)をおこないました。

【コーポ亀の子Ⅲ】(共同生活援助事業)

1) 基本方針

住まいの場の提供を図り、それぞれが快適に、自分らしく生活できるように、自己自立を図るように、住まいの提供とともに、必要な生活支援をしています。

2) 入居状況推移表 (単位:人)

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
4名	4名	0名	0名	4名

3) 入居者構成表(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
男性	0	0	0	2	1	3	62歳1か月
女性	0	0	0	1	0	1	56歳1か月
合計	0	0	0	3	1	4	60歳7か月

4) 入居年数(平成28年3月31日現在) (単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	1	0	1	1	3	3年1か月
女性	0	0	1	0	1	3年4か月
合計	1	0	2	1	4	3年2か月

5) 利用者の主な障がい種別 (平成28年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
4名	0名	0名	0名
100%	0%	0%	0%

6) 福祉サービス利用先等 (単位:人)

一般就労	遊亀館	亀の子工房	ふぁみりーわーく	合計
0	0	2	2	4

7) その他

○毎月1回、全体ミーティング(生活状況等)をおこないました。

(3) 高齢者支援部門

【亀の子デイサービス】(通所介護・介護予防通所介護)

1) 基本方針

- ①事業所の指定通所介護者は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った指定通所介護の提供に努めるものとする。
- ②指定通所介護の提供に当たっては、関連市町村、居宅介護支援事業所その他地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図りながら、常に利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて適切に行なう。特に認知症状態にある利用者に対しては、必要に応じ、その特性に対応したサービスの提供ができるよう体制を整える。
- ③前項の規程に基づき、提供した指定通所介護については、常にその質の評価を行い、その改善を図るものとする。

2) 職員体制(平成28年3月31日現在)

管理者 1 名、生活相談員 2 名、看護職員兼機能訓練指導員 2 名、介護職員 7 名

3) 事業内容

- ①食事の提供
- ②生活等に関する相談の助言
- ③健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の世話
- ④集団及び個別対応の機能訓練
- ⑤年間プログラムによるレクリエーション活動、創作活動
- ⑥通所介護計画(介護予防通所計画)による個別の支援
- ⑦入浴サービス

4) 実施事業

- ①個別計画(機能訓練)の充実を図りました。
- ②デイだよりの発行を行いました。
- ③生きがいづくりの充実を図りました。(音楽教室など)
- ④各事業所との連携を推進しました。
- ⑤避難訓練や消防訓練を実施いたしました。
- ⑥各種研修会への参加。

5) デイサービス利用者述べ人数(H27年4月～H28年3月)

定員	実人数	延べ人数	一日当たりの利用人数
10名	242人	2,072人	8.6人

※平成27年10月より定員を10名に変更

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4,5	計
男性	0	0	0	0	28	0	28
女性	494	439	714	273	122	2	2,044
計	494	430	714	273	150	2	2,072

(4)子ども支援

I.【たから保育園】(認可保育所)

1)保育理念

- ①子どもの信頼関係を大切にし、一人ひとりが安心して自分を出して生活できるような保育をします。
- ②縦割りの中で子どもたち同士のつながりや、思いやりの気持ちが持てるようにします。
- ③家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごせるようにします。
- ④地域の中で保育を大切にし、様々な人との交流の場を広げます。

2)保育目標・方針

- 心身ともに健康で心豊かな子ども
- 協調性・自主性のある明るい子ども
- よく見・よく聞き・よく考え・行動できる子ども

3)保育内容

- ①保育時間 月～金曜日 7:30～18:30
土曜日(午後は希望保育) 7:30～18:30
- ②延長保育 月～土曜日(有料) 19:30まで
- ③一時保育 月～金曜日(有料) 8:30～16:30

4)職員構成

(単位:人)

園長	副園長	保育職員			栄養士	調理員	看護師	事務	計
		主任	常勤	非常勤					
1	1	1	10	6	1	2	1	1	24

顧問医:やまうち内科 山内院長 顧問歯科医:フジタ歯科 藤田院長

5)保育人数

①通常保育(平成28年3月)

(単位:人)

0歳児 びしゃもん組	1・2歳児 べんてん組	3歳児 ほてい組	4歳児 えびす組	5歳児 だいこく組	合計	保育 定員
12	23	10	4	5	54	50

②障がい児保育事業

- ・平成27年度・・・1名(診断書有)

③延長保育事業

- ・平成27年度・・・455名(延人数)

④一時保育事業

- ・平成27年度・・・110名(延人数)

6) 保育園行事

行事	実施日	場所	参加者
開園・入園式	4月4日	たから保育園	入園児45名・保護者・来賓
礼拝	10回実施	瑞応寺	2～5歳児
誕生会	毎月実施	たから保育園	全園児
お茶のおけいこ	8回実施	たから保育園	4～5歳児
英語教室	43回実施	たから保育園	全園児
散歩遠足	8回実施	保育園近辺	全園児
カラ弁当の日	3回実施	たから保育園	全園児
花まつり	4月13日	たから保育園	全園児・大田・久手・相愛保育園・保護者参加
親子遠足	5月23日	アクアス	園児27名 家族他48名
交通安全教室	6月25日	たから保育園	園児42名 警察官2名
庄内保育園視察	7月4日	庄内保育園	職員10名
七夕会	7月7日	たから保育園	園児45名
夏まつり	7月25日	たから保育園	
運動会	9月26日	たから保育園	園児44名 保護者51名
保育参観	6/24、26 10/6、8、 13、29 11/12、20	たから保育園	園児 保護者12名
餅つき会	12月4日	たから保育園	園児45名・食育ボラ3名
クリスマス会	12月25日	たから保育園	園児49名
雪遊び	2月18日	三瓶	4・5歳児7名 保護者6名
節分会	2月3日	たから保育園	園児53名
節分祭	2月3日	物部神社	園児9名・職員2名
お楽しみ会	2月13日	たから保育園	園児52名 保護者他多数
ひな祭り会	3月3日	たから保育園	園児53名
お別れ遠足	3月16日	宮崎公園・代官山公園	全園児
お別れ会	3月16日	たから保育園	園児53名

行事	実施日	場所	参加者
卒園式・親子茶会	3月26日	たから保育園	卒園児5名・ 在園児10名・保護者10名・来賓3名
身体測定	毎月実施	たから保育園	
歯科検診	6月	たから保育園	
内科検診	11月・3月	たから保育園	
防災・避難訓練	毎月実施	たから保育園	
クッキング	6回実施 (7~9月を除く)	たから保育園	

- 礼拝は、バスで行けるので子どもたちも楽しみにしていた。
(1、2歳児もバスに乗って出かけることを楽しみにしていた)
- 各行事も保護者参加がたくさんあり、協力してもらえたことによりスムーズに進行できた。
- お茶のおけいこは回数的にも丁度良かった。
(3か月に1回のおけいこで子どもたちも自信を持って親子茶会にのぞめた)
- 活動内容や、保護者の参加しやすい行事日程を考えて行く必要がある。
- 夏祭りも保育園主体で行うことで、保護者の方楽しんでいただけたと思う。

7) 地域活動事業

① 世代間交流

開催日	内容
5月27日	ふぁみりーわーく利用者と野菜の苗植え
6月1日	ふぁみりーわーく利用者と玉ねぎ収穫
6月16日	遊亀館 パン工房にてピザ作り
6月19日	亀の子デイサービスとの交流
7月3日	ふぁみりーわーく利用者とジャガイモ掘り
9月29日	亀の子デイサービスの敬老会参加
10月26日	ふぁみりーわーく利用者とさつまいも掘り
2月3日	ふぁみりーわーく利用者と物部神社節分祭

② 異年齢児交流

開催日	内容
4月10日	新入園児歓迎会
5月23日	親子遠足
7月7日	七夕会
7月25日	夏祭り
9月26日	運動会

開催日	内容
12月25日	クリスマス会
3月3日	ひな祭り
3月11日	お別れ遠足
3月16日	お別れ会

③地域交流

開催日	内容
4月13日	花まつり
8月19日	梨狩り
10月3日	亀の子祭り
12月4日	餅つき会
2月3日	節分祭

II. 【かめっ子クラブ】(放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業)

1) 目的

未就学期や学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

- ①未就学の障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。
- ②学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

- ①放課後等デイサービス事業：月曜日～土曜日
- ②児童発達支援事業：月曜日～金曜日
但し、両事業とも祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

- ①児童発達支援事業 9:00 ～ 13:30
- ②放課後等デイサービス事業
平日 14:00 ～ 18:00
学校休業日 8:30 ～ 16:30
(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援を実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 長久町・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・
静間町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩町

6) 利用定員 10名

(児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の合算)

7) 行事

開催月	内容
4月	お花見・誕生日会
5月	さつま芋苗植え・クッキング
6月	玉ねぎ収穫・誕生日会
7月	七夕会・海水浴・陶芸教室・クッキング・プール遊び・日立劇場
8月	陶芸教室・ろうけつ染め・プール遊び・夏祭り・マジックショー
9月	避難訓練・散歩
10月	亀の子祭参加・運動会・誕生日会・
11月	散歩
12月	クッキング・玉ねぎ苗植え・クリスマス会・大掃除
1月	初詣・書き初め・凧揚げ
2月	節分・クッキング・雪遊び・写真展・保護者懇談
3月	ひな祭り会・ジャガイモ苗植え・避難訓練・誕生日会
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会

8) 支援活動内容

①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室・島根県西部発達障がい者支援センターウインドなど関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。

②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 利用数

①放課後等デイサービス事業 (単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	23	26	26	23	23	26	23	24	23	24	26	24.3
利用児童数	10	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
延べ利用児童数	190	154	189	202	188	200	222	196	213	183	215	234	198.8
1日当り利用児童数	7.6	6.7	7.2	7.7	8.1	8.7	8.5	8.5	8.8	7.9	8.9	9.0	8.1

②児童発達支援事業

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	6	4	5	7	6	5	8	6	3	7	7	9	6
利用児童数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延べ利用児童数	7	4	7	9	6	8	10	8	3	7	10	10	7.4
1日当り利用児童数	1.1	1.0	1.4	1.2	1.0	1.6	1.2	1.3	1.0	1.0	1.4	1.1	1.2

Ⅲ.【かめっ子クラブⅡ】(放課後等デイサービス事業)

1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 長久町・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・
静間町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩町

6) 利用定員 10名

7) 行事

開催月	内容
4月	お花見・歓迎会・散歩・誕生日会
6月	むし歯予防デー
7月	七夕会・海水浴・陶芸教室・プール遊び
8月	陶芸教室・ろうけつ染め・梨狩り・夏祭り・マジックショー
9月	避難訓練・染物・散歩
10月	亀の子祭参加・運動会・さつま芋収穫祭・誕生日会
12月	クリスマス会・誕生日会

開催月	内容
1月	初詣・書き初め・誕生日会
2月	節分・バレンタインディ
3月	ひな祭り会・誕生日会・お楽しみ会
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会

8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室・島根県西部発達障がい者支援センターウインドなど関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 平均利用数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	23	26	26	23	23	26	23	24	23	24	26	24.3
利用児童数	10	12	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12
延べ利用児童数	164	143	161	196	172	168	174	170	180	161	185	186	171.6
1日当り利用児童数	6.5	6.2	6.1	7.5	7.4	7.3	6.6	7.3	7.5	7.0	7.7	7.1	7.0

5. メンバーの家族との連携

適切な支援と健全な育成を図るためには、障がい者が住み慣れた地域での生活や社会的自立を促進するために、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持しなければなりません。

このため、各種行事の参加要請、研修会の開催等を行い理解と協力を求めています。また、機関紙等を利用して連携に努めました。

大田地域家族会「親和会」の事務局補助をのほほん職員が担当し、家族の支援を行い、共に障がい者福祉の理解を求めました。

6. 苦情解決

平成27年度は、利用者や地域住民から下記の苦情申し立てがございましたが、解決に向けて話し合いを行い、改善等を行った結果、申立者より納得・理解をしてもらうことができました。

施設名	内 容	件数
亀の子工房	製造品についてのクレーム	2
	スタッフの対応について	1
	他の利用者からの嫌がらせについて	1
のほほん	他の利用者からの嫌がらせについて	1
かめっ子クラブ	スタッフの態度について	1
	スタッフの対応の仕方について	2
合 計		8

7. 社会貢献活動

社会貢献活動として、地域の下記の活動に参加を行いました。

内 容	実施日又は 参加回数	人数
大田市海岸(鳥井海岸)清掃活動	7.11	27
天領さん	8.2	44
めだか教室	6回	(延べ)6